

Macでのnvmインストール手順書

このガイドでは、Macユーザー向けにnvm（Node Version Manager）のインストール手順を解説します。

上手くいかない場合は、実際のやり取りやエラー例も記載しているので、そちらも参考にしてください。

※nvmをインストールする前に、既にNode.jsがインストールされている場合のアンインストール

注意: nvmを使用する前に、もし既にNode.jsがインストールされている場合は削除する必要があります。

事前確認：Node.jsが既に入っている場合

nvmを使う前に、既にNode.jsが入っていれば一度削除してください。

Node.jsの確認

```
which node
```

- パスが表示される場合 → Node.jsがインストールされています。

Homebrew経由でインストールされた場合の削除

```
brew uninstall node
```

その他の方法で入れた場合

- 手動削除または、使用した方法でアンインストールしてください。

再確認

```
which node
```

- 何も表示されなければOKです。

1. ターミナルを開く

手順

方法1: Spotlight検索を使う

- Spotlight検索（画面右上の虫眼鏡マーク）をクリック。
- 「ターミナル」と入力してEnter。

方法2: アプリケーションフォルダから開く

- Finderを開きます。
- 「アプリケーション」フォルダを選択。
- 「ユーティリティ」フォルダを開き、「ターミナル」を探してダブルクリック。

方法3: DockやLaunchpadを使う

- Dockにターミナルアイコンがあればそれをクリック。
- または、Launchpad（ミッションコントロールのアイコン）を開き、「ターミナル」と検索してクリック。

画面イメージ

- **bashの見た目:**
 - プロンプトの末尾が `$` で終わります。

```
Last login: ...  
MacBook-Pro:~ username$
```

- **zshの見た目:**
 - プロンプトの末尾が `%` で終わります。

%

2. bash/zshの確認と設定ファイルの存在確認

初期設定では、macOS Catalina以降は **zsh** が標準ですが、**bash** を使っている可能性もあります。

確認方法

以下の手順で現在のシェルと設定ファイルの存在を確認し、必要に応じてファイルを作成してください。

✓ 現在のシェルの確認

```
echo $SHELL
```

- 結果が **/bin/bash** の場合: あなたのシェルは **bash** です。
- 結果が **/bin/zsh** の場合: あなたのシェルは **zsh** です。

✓ 設定ファイル（**.bashrc** / **.zshrc**）の存在確認

```
# bashの場合  
ls -a ~ | grep .bashrc
```

```
# zshの場合  
ls -a ~ | grep .zshrc
```

.zshrc や **.bashrc** のファイル名が表示されれば、**存在しています**。

```
# 例  
.zshrc
```

表示された場合は、次の「3.nvmをインストールする」に進んでください。

もしここで表示されていなければ、設定ファイルが存在していません。

このまま進めるとエラーになるので、その場合は以下の手順でファイルを作成してください。

✓ 設定ファイルの作成

```
# bashの場合  
touch ~/.bashrc
```

```
# zsh の場合  
touch ~/.zshrc
```

こちらを実行した後、先ほどの設定ファイルの存在確認コマンドを打って表示されたらOKです。

3. nvmをインストールする

• bashの場合

以下のコマンドをコピーしてターミナルに貼り付け、Enterキーを押します。

```
curl -o- https://raw.githubusercontent.com/nvm-sh/nvm/v0.39.5/install.sh |  
bash
```

インストールが完了したら、以下のコマンドを実行してnvmを読み込みます。

```
source ~/.bashrc
```

• zshの場合

以下のコマンドをコピーしてターミナルに貼り付け、Enterキーを押します。

```
curl -o- https://raw.githubusercontent.com/nvm-sh/nvm/v0.39.5/install.sh |  
zsh
```

インストールが完了したら、以下のコマンドを実行してnvmを読み込みます。

```
source ~/.zshrc
```

4. インストール確認

nvmが正しくインストールされたか確認するには、以下を実行します。

```
nvm --version
```

- 正しい結果:

```
0.39.5
```

- エラー文:

```
nvm: command not found
```

対処方法:

- 環境変数が正しく設定されているか確認してください。
- **bash**の場合:

```
export NVM_DIR="$HOME/.nvm"  
[ -s "$NVM_DIR/nvm.sh" ] && \. "$NVM_DIR/nvm.sh"
```

- **zsh**の場合:

```
export NVM_DIR="$HOME/.nvm"  
[ -s "$NVM_DIR/nvm.sh" ] && \. "$NVM_DIR/nvm.sh"
```

- 設定を保存するために、上記をそれぞれ `~/.bashrc` または `~/.zshrc` に追記してください。
- 設定が正しく出来たら、もう一度 `nvm --version` を実行してください。

5. Node.jsをインストールする

最新のLTSバージョンをインストールするには以下を実行します。

```
nvm install --lts
```

正しくインストールされたか確認してください。

```
node --version
```

→ 表示されたバージョン（例：v22.13.0）を使用して実行してください。

```
nvm use 22.13.0
```

6. まとめ

以上で、nvmとNode.jsのインストールは完了です。シェルの種類やエラーによって異なる対処方法が必要な場合がありますので、本ガイドを参考にしてください。

もしどうしても上手くいかない場合は、質問するようにお願いします。

補足情報

よくあるエラーと対処

- **bashをインストールしたがnvmが使えない場合**
 - zshがデフォルトの可能性があるため、zsh用の手順で進めてください。
 - ターミナルで以下を実行し、zshに切り替えます。

```
tail -n 3 ~/.zshrc
```

- 上記の出力が正しいことを確認後、以下を実行します。

```
exec $SHELL -l
```

- エラーケース1: `nvm: command not found`

→ 環境変数が正しく設定されていない可能性あり。「**3. nvmをインストールする**」「**4.インストール確認**」辺りの手順をよく見直して、漏れがないか確認してください。

- エラーケース2: `.zshrc` などが無くて `No such file or directory` と出た場合

→ まだ作成されていない状態なので問題ありません。 `touch ~/.zshrc` で作成してください。

- エラーケース3: `zsh: command not found: curl`

→ 原因: `curl` がインストールされていません。

対処方法:

```
brew install curl
```

brewがない場合の対処:

```
/bin/bash -c "$(curl -fsSL https://raw.githubusercontent.com/Homebrew/install/HEAD/install.sh)"
```

このコマンドでHomebrewをインストールしてください。

- 公式リファレンス: `nvm`の詳細は[公式GitHub](#)をご覧ください。

実際のやり取り例を基にした補足

- 「`bash/zsh`がわかりません。」

→ターミナルの見た目や `echo $SHELL` の結果を確認し、該当する手順で進めてください。

- 「`nvm` がnot foundになります。」※エラーケース1の事例

→環境変数の設定漏れが考えられます。 `~/.bashrc` や `~/.zshrc` に設定を追記して再読み込みしてください。